

東北地方 1 か月予報

(3月13日から4月12日までの天候見通し)

平成22年3月12日
仙台管区气象台発表

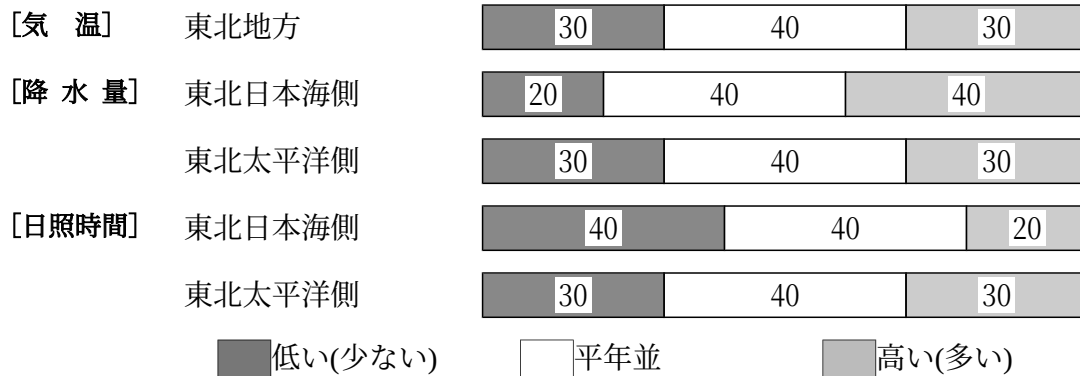
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

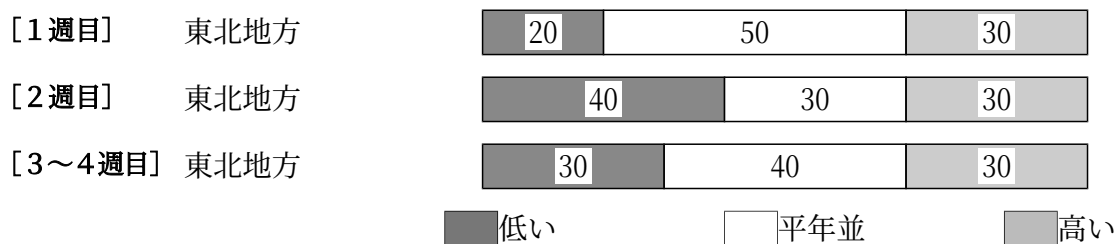
向こう1か月の降水量は東北日本海側で平年並または多い確率がともに40%です。日照時間は東北日本海側で平年並または少ない確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1 か月 : 3月13日(土) ~ 4月12日(月)
1 週目 : 3月13日(土) ~ 3月19日(金)
2 週目 : 3月20日(土) ~ 3月26日(金)
3~4 週目 : 3月27日(土) ~ 4月 9日(金)

<次回発表予定等>

1 か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は3月19日
3 か月予報: 3月25日(木) 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	4.1	64.2	166.9	1.9	3.0	5.2
深浦	4.7	87.8	149.8	2.5	3.5	5.8
むつ	3.5	77.5	174.0	1.3	2.3	4.6
八戸	4.5	54.4	184.8	2.1	3.2	5.6
秋田	5.4	102.1	160.0	3.1	4.2	6.5
盛岡	4.1	88.5	171.0	1.7	2.8	5.3
大船渡	5.4	116.8	173.2	3.4	4.3	6.5
宮古	5.0	96.5	187.8	2.9	3.8	6.1
仙台	6.5	87.2	187.8	4.4	5.3	7.5
石巻	5.7	82.8	192.6	3.6	4.6	6.7
山形	5.4	66.7	161.0	2.9	4.0	6.6
新庄	3.9	107.2	133.6	1.9	2.8	4.9
酒田	6.2	103.3	150.3	4.1	5.1	7.2
福島	7.1	83.2	184.4	4.8	5.8	8.2
若松	5.4	67.6	154.3	2.8	4.0	6.6
白河	5.7	90.6	183.3	3.5	4.5	6.9
小名浜	7.9	124.9	186.6	6.1	6.8	8.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2～+0.4	87～111	97～105
東北日本海側	-0.2～+0.3	88～108	94～105
東北太平洋側	-0.2～+0.3	83～117	97～105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6	-0.4～+0.6
東北日本海側	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6	-0.5～+0.5
東北太平洋側	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6	-0.4～+0.6

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 22 年 3 月 12 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (3 月 13 日～4 月 12 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目 (3 月 13 日～3 月 19 日) :

東北日本海側は低気圧や寒気の影響で雨または雪の降る日が多いですが、期間のはじめと終わりは晴れる日があるでしょう。東北太平洋側は沿岸部を中心に晴れる日が多いですが、期間のはじめと中頃は雨の降る日がある見込みです。なお、発達する低気圧の影響で、明日 (13 日) と期間の中頃は荒れた天気となるおそれがあります。

平均気温は平年並の確率が 50% です。

2 週目 (3 月 20 日～3 月 26 日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目 (3 月 27 日～4 月 9 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

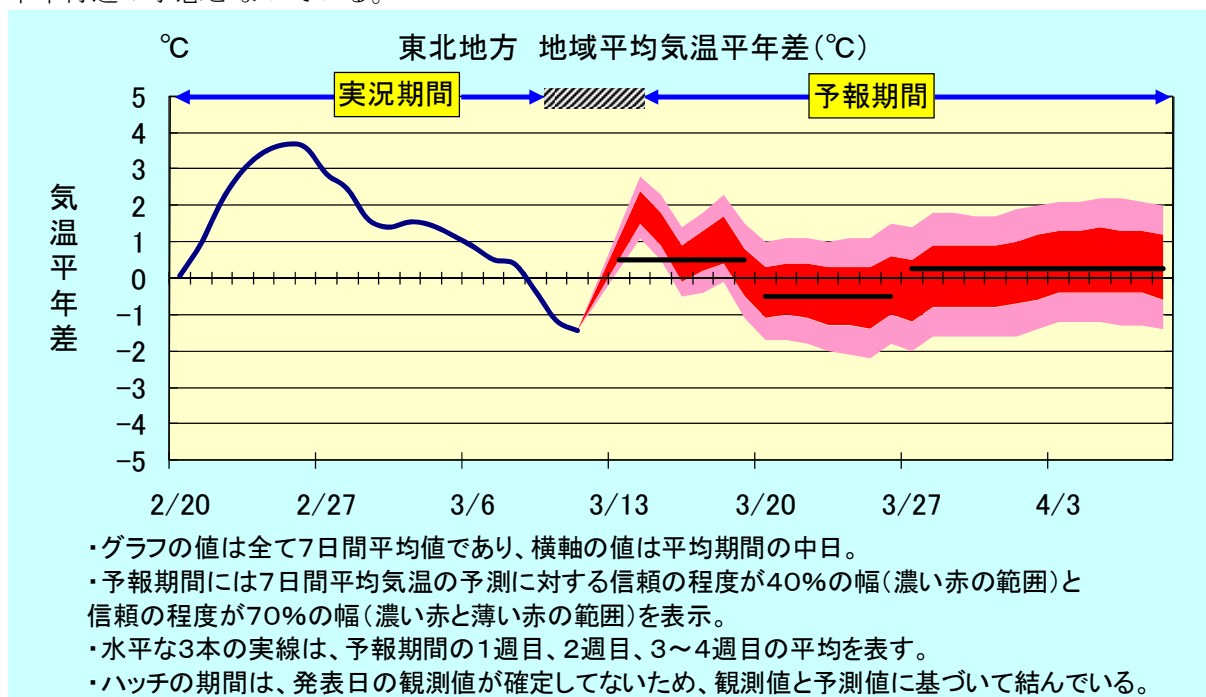
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	13.8 日	3.1 日	3.3 日	7.4 日
東北太平洋側	17.8 日	4.8 日	4.4 日	8.6 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目ともに平年付近の予想となっている。

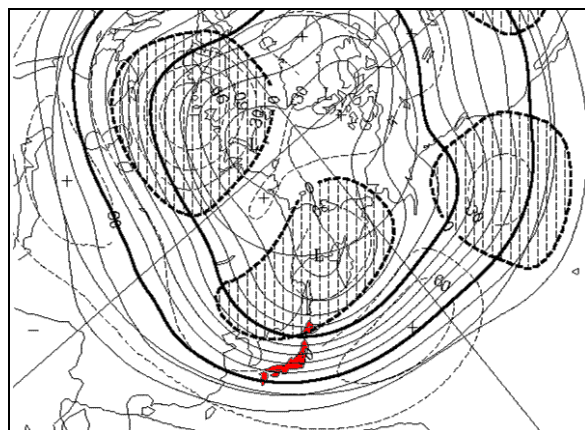


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

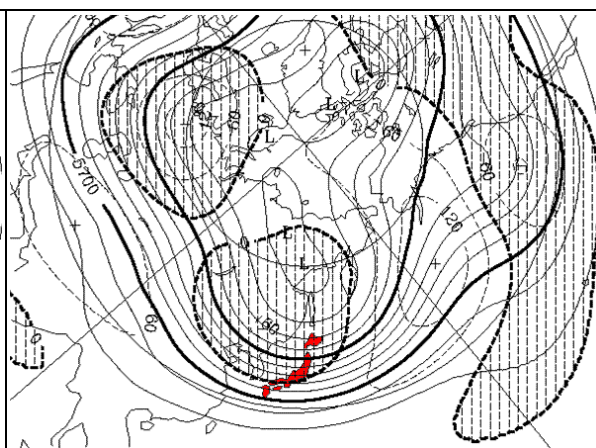
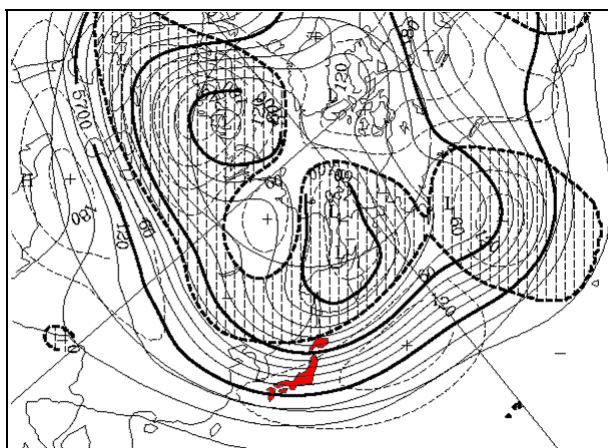
1か月平均:本州付近は日本の東海上を中心とした正偏差に広くおおわれるが、日本の北には負偏差があり、一時寒気の影響も見込まれる。気温は平年程度が予想される。

1週目:日本付近は日本の東海上を中心とした正偏差に広くおおわれるが、日本の北には負偏差があり、一時寒気の南下も見込まれる。気温は平年並が予想される。

2週目:中国大陸から日本付近は負偏差がかかり、寒気の影響が見込まれる。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

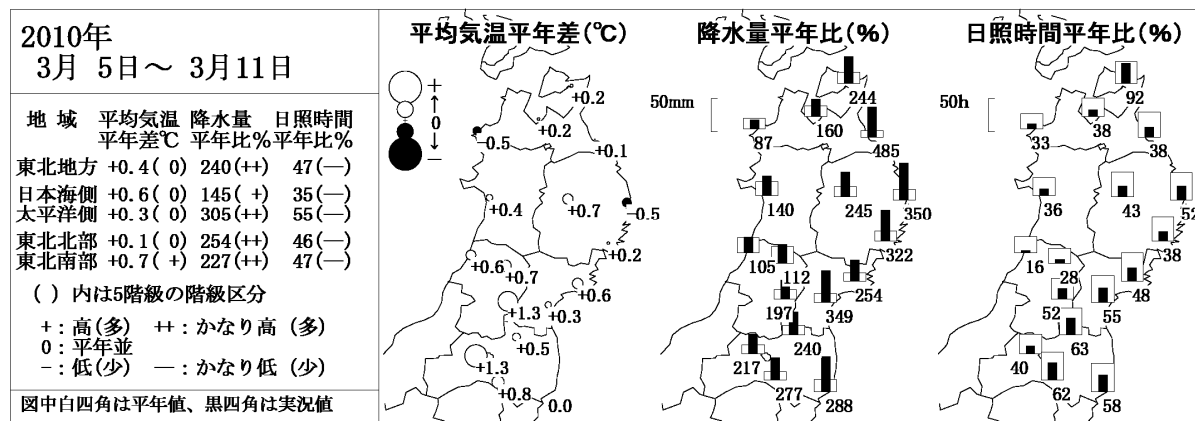
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（3月5日～3月11日）の天候の経過

この期間、本州の南岸や日本海を低気圧や前線が短い周期で通過したため、曇りや雨または雪の日が多かった。期間のはじめは、南よりの暖かい空気が入り気温は高かった。期間の中頃は強い寒気が南下し、また、9日から10日にかけて本州南岸の低気圧が発達しながら三陸沖を北東進した影響で湿った雪が降り、東北太平洋側の沿岸部を中心に大雪となった。特に、八戸では10日の降雪の深さ日合計が61cmとなり、これまでの第1位の値を更新するなど記録的な大雪となった。また、この影響で、岩手県や宮城県では着雪害や交通障害などが発生した。

平均気温は東北部で平年並、東南部で高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）